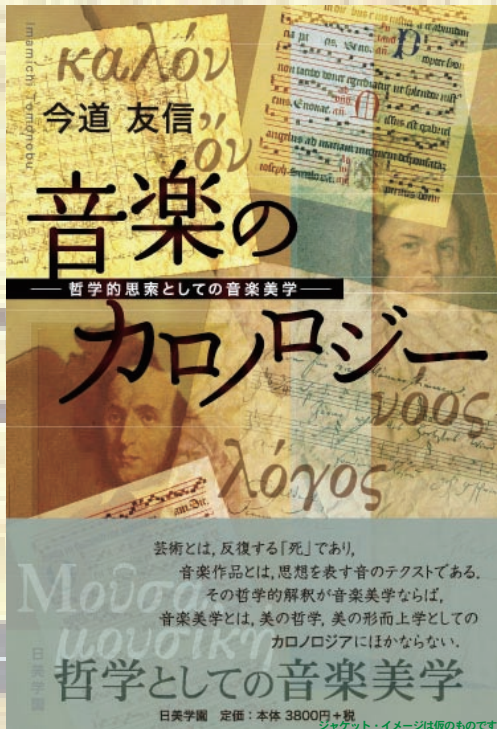


音楽のカロノロジー

いまみち・とものぶ
今道友信



思索は音楽を対象とする。“カロノロジー”とは、存在の上位に美を求める形而上学としての美学思想であり、著者が基礎付け、提唱したものである。本書において、音楽はその視点から再解釈され、思想を担うテキストとして再生する。美学、哲学分野の世界的研究者による音楽哲学書。

第1章 音楽美学講義

・音楽とは何かを形而上学的に論じた講演録をもとに書き起こされた著者の音楽美学入門エッセー。第2章を読み進むための「案内役」として平易な文章で構成されている。

第2章 音楽美学論集

・70年代から2000年代までに各誌に発表された音楽美学に関する論文を大幅に改稿し、編集された論集。

※著書

- 『美の位相と藝術』〔増補版〕、東京大学出版会、1971年。
- 『同一性の自己塑性』、東京大学出版会、1971年。
- 『エコエティカ』、講談社学術文庫、1990年。
- 『ダンテ〔神曲〕講義』、みすず書房、2002年。
- 『アリストテレス』、講談社学術文庫、2004年。
- 『美の存立と生成』、ピナケス学術叢書、2006年。
- 『超越への指標』、テオロギケー叢書（ピナケス出版）、2008年。
- 『中世の哲学』、岩波書店、2010年。
- 『未来を創る倫理学エコエティカ』、昭和堂、2011年。

Quarta

付録 対話「よろこびをうたう」

・昨年作られた形式的にめずらしい対話編であり、今道友信と三村利恵の共著である。シラーと「第九」をとりあげ、詩的、音楽的解釈を展開する。形式だけでなく、若干の楽理分析をともなった解釈もめずらしく、共著らしい作品になっている。

音楽のカロノロジー

——哲学的思索としての音楽美学——

四六判・上製・368頁・タテ組

定価：本体3,800円+税

ISBN978-4-903505-11-4 C1070

お問い合わせ→ info@pinakes.jp

今道友信 (1922-2012)

日本美容専門学校校長、東京大学名誉教授、
日本アスペン研究所特別顧問

音楽のカロノロジー

——哲学的思索としての音楽美学——

音楽もまた、思索対象としてのテキストであり、哲学的解釈を行うことができるカロノロジカルな現象である。

www.pinakes.jp

発売 ピナケス出版	ご注文冊数	書店印
『音楽のカロノロジー』 今道友信 [著]	冊	
四六判 上製 368頁 定価：本体3,800円+税 ISBN978-4-903505-11-4 C1070	ご担当	
ご注文・お問い合わせは、株式会社 JRC TEL：03-5283-2230 FAX：03-3294-2177	様	

ご注文は JRC(ジェイ・アール・シー)へ FAX：03-3294-2177